

[高槻市総合交通戦略] モニタリング指標確認結果(R6.3時点)

| | モニタリング指標 | 目指す方向性 | 策定時確認値 | 最新確認値 | 確認頻度 | 出典 |
|--------|-------------------|--|---|---|-------------------------------|-----------------------------------|
| 直接的な指標 | (1) 交通手段分担率 | マイカーに過度に依存しないという基本方針を踏まえ、非自動車分担率を増加 | 75% (平成22年実績) | 79% (令和3年実施) | 10年に1回 | 近畿圏パーソントリップ調査 |
| | (2) 鉄道利用者数 | 人口減少時代においても、1日当たり乗降者数を現状維持 | 263千人/日 (平成25年実績) | 223千人/日 (令和3年実績) | 毎年 | 大阪府統計年鑑 |
| | (3) 一人当たり年間バス乗車回数 | 持続可能な交通体系に向けて、高槻市民一人当たり年間バス乗車回数を増加 | 63.5回/人・年 (平成25年度実績) | 48.6回/人・年 (令和3年度実績) | 毎年 | 高槻市統計書 |
| | (4) 自動車平均速度 | 市内移動環境の充実のため、自動車平均速度10km/h以下の国道交差点を減少 | 5方向 (平成26年実績) | 0方向 (令和4年度実績) | 毎年 | 国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所資料 |
| | (5) 自転車放置台数 | 高齢者・障がい者、子育て世代が気軽に移動できる移動環境の実現のため、自転車放置台数を減少 | 1,508台/日 (平成26年調査結果) | 945台/日 (平成30年調査結果) | 毎年 | 自転車利用実態調査(管理課) |
| | (6) 中心部歩行者数 | 中心部ににぎわいを持続させるため、休日の中心部歩行者数を現状維持 | 202.9千人/日 (平成25年度調査結果) | 195.7千人/日 (令和4年度調査結果) | 3~4年に1回 | 通行量・入店者数調査報告書(高槻市産業環境部・高槻商工会議所) |
| 間接的な指標 | (7) 一人平均歩数 | 健康な暮らしを支える交通体系の実現のため、高槻市民一人当たり1日平均歩数を増加 | 男性: 4,619歩/日 女性: 3,727歩/日 全体: 4,101歩/日 (令和元年度調査結果) | 男性: 4,346歩/日 女性: 3,812歩/日 全体: 4,030歩/日 (令和4年度調査結果) | 3年に1回程度 | 高槻市と関西大学による市民意識調査報告書 |
| | (8) 駅周辺部居住人口 | コンパクトなまちづくりという将来都市像を目指すため、鉄道駅周辺部の居住人口を現状維持 | 96,786人 (平成26年10月1日現在) | 98,793人 (令和4年10月1日現在) | 国勢調査:5年に1回、高槻市推計人口:毎年9月末の値を確認 | 国勢調査及び高槻市推計人口 |
| | (9) 交通事故死傷者数 | あらゆる世代にとって安全で外出しやすい交通環境を目指すため、死傷者数を減少 | 1,556人/年 (平成26年実績) | 715人/年 (令和4年実績) | 毎年 | 大阪の交通白書 |
| | (10) 移動手段に関する満足度 | 「交通まちづくり」による住みやすさナンバーワンを目指すため、市民アンケートにおける全ての移動手段での不満・やや不満を減少 | 歩行、自転車及び自動車に関する不満・やや不満が比較的高い (平成27年度調査結果) | 歩行、自転車及び自動車に関する不満・やや不満が改善 (令和4年度調査結果) | 短期的な取組の目標年次、中期的な取組の目標年次 | 市民アンケート結果 高槻市と関西大学による市民意識調査報告書 |

※(4)平成29年よりETC2.0データを使用(平成28年までは民間プローブデータ)

※(5)自転車放置台数:平成30年で調査終了

※(7)令和4年度調査 20代:10代(18歳以上)を含む